

標 題：Mediterranean and Low-Fat Diets Improve Endothelial Function in
Hypercholesterolemic Men
地中海食事および低脂肪食は高コレステロール血症男性で内皮機能を改善する

著 者： F. Fuentes, et al. (所属は論文末に記載、スペインで実施)

掲 載 誌： Ann. Intern. Med. 134: 1115-1119 (2001)

要 旨：

背 景： 高コレステロール血症で内皮の調節機能は変化し、それに続く内皮機能障害が、アテローム性動脈硬化の発症で中心的な役割を演じる。

目 的： 高飽和脂肪食事を低脂肪・低飽和脂肪食事(米国コレステロール研究計画の第1段階[NCEP-1]食事)または高1価不飽和脂肪食事(地中海諸国で一般的)で置換えることにより、高コレステロール血症患者で内皮の調節機能が影響されるかを確認すること。

計 画： ベースラインと2つのランダムクロスオーバー食事期による食事介入研究。

設 定： スペイン、コルドバ市の Reina Sofia 大学病院。

患 者： 22名の高コレステロール血症男性。

介 入： 患者は高飽和脂肪食事を摂取し、次いでクロスオーバー法でNCEP-1食事または地中海食事に割当てられた。各食事期間は28日続いた。

測 定： 血漿のP-セレクチン値、脂質濃度、および内皮機能。

結 果： 飽和脂肪食事と比較して流量依存性拡張(flow-mediated dilation)が地中海食事中に増加したが、NCEP-1食では増加しなかった。

さらに、血漿コレステロール、LDLコレステロール、アポリポタンパクBおよびP-セレクチンが、NCEP-1食事および地中海食事中に低下した。

結 論： 高コレステロール血症男性で、脂肪(特に飽和脂肪)が低い食事および1価不飽和脂肪が高い食事は内皮機能を改善する。
